

全校集会の話「わが町富雄」 2017.12.1

久しぶりの全校集会、今日は少し時間をもらって富雄の歴史に触れ、そして校内にある石像について話をしました。要約すると次のとおり。詳しくはお子さんに聞いてください。

1 富雄の名前、その由来は

富雄川は、生駒から大和川へ流れており、その昔「とみのおがわ」と呼ばれていた。古くから多くの歌にも詠まれており、そこからもらったものらしい。

2 三碓の名前、その由来は

校区に根聖院という神社があるが、その境内には「三つのからうす」がある。それを見た聖武天皇が名づけた地名とされている。

この校区は、日本書紀に「とびの村」という名前が出てきたり歴史を掘り下げると、神話にもつながる話があったり大変歴史深い町である。

3 本校にある、二宮尊徳（金次郎）の石像には兄弟がいる。

本日のゲスト、木村千倍先生の話（三碓音頭作詞）

- ① 二宮尊徳さんは、神奈川県小田原市の百姓の息子として生まれた実在の人物である。また、多くの町の財政危機を救った人として有名。
- ② 富雄中に石像があるのは、自分（二宮千倍先生）の祖父が昭和25年（1950）に石像を寄付しようとしたときに足部分が折れたため、新しい石像を作り直して本校へ寄贈した。元の方は木村家にある。
- ③ 富雄中の皆さんへ
二宮尊徳像は足が一步前に出ていることが大切。何事も自分で一步踏み出して、希望を持って生きてほしい。

